行政インフォメーション INFORMATION 行政インフォメーション INFORMATION

夏のエコライフDAY・WEEK2024寄居

「夏のエコライフDAY・WEEK2024寄居」は、地球温暖化を防止するライフスタイルに向けたきっかけづくりを行う ためのキャンペーンです。専用のチェックシートを使用して、部屋を出るときは明かりを消したり、冷房を適切に使用 したりするなどの環境に配慮した行動をしていただき、それぞれの行動に応じた二酸化炭素の削減量を確認すること ができます。

キャンペーンに参加し、ご自身のライフスタイルを見直すきっかけにしてはいかがですか。

▶実施期間 / 7 月 6 日 出~ 8 月 25 日 日

▶参加方法/インターネットによる参加となります。 詳しくは、次の二次元コードからアクセスしてくださ い。また、町公式ホームページからもチェックシート のデータを入手できます。なお、紙のチェックシート は生活環境エコタウン課でも配布します。



- ▶提出期間/7月8日(月)~8月26日(月) ※紙のチェックシートで参加された場合は、期間内に生活環境エコ タウン課へチェックシートをご提出ください。
- ▶その他/キャンペーンの結果は、9月下旬に町公式 ホームページに掲載します。
- 問生活環境エコタウン課(▼581·2121内線223·224)





開催します!

人権問題講演会

町では、人権問題について正しい理解と認識を深め ていただくため「人権問題講演会」を開催します。どな たでも参加できますので、お気軽にお出かけください。

- ▶ 日時 / 8 月 29 日休/午後2時~
- ▶場所/寄居町民ホール
- ▶定員/100 人
- ▶講演

混迷の時代を生きる"命の重さ" ~私の取材ノートから~

- ▶講師/江川紹子氏
- ▶講師紹介/神奈川新聞社の社会部記者を経て、フ リージャーナリストに。1995年に一連のオウム事件 を巡る報道で菊池寛賞受賞。
- ▶費用/無料
- ▶申し込み/整理券を7月22日(月)午前10時から7月31 日別に、人権推進課で配布します。整理券はなくな り次第、配布終了となります。
- 問人権推進課(▼581·2121内線251·252)

報告します!

情報公開制度の運用状況

情報公開制度とは、町が保有している公文書を、町 民をはじめとする皆さんの開示請求等により公開する 制度です。町では「寄居町情報公開条例 | に基づき、制 度の適正な運用を図りながら、開かれた町政を推進し ています。令和5年度の運用状況、公文書開示請求等 の内容は次のとおりです。

▶情報公開制度

公文書開示請求	22件	開示	17件
		部分開示	4件
		不存在による不開示	1件
公文書任意開示申出	0件	開示	0件
		部分開示	0件
		不存在による不開示	0件
審査会の開催	開催なし(審査案件がなかったため)		

問総務課(▼581・2121内線311・312)

できることから取り組みましょう

ストップ地球温暖化!

地球温暖化とは

これまで、私たち人間の活動によって、二酸化炭素 (CO₂) などの温室効果ガスが大量に排出されてきまし た。それに伴い、地球の気温が上昇し続け、気候や生物 など自然界のバランスを崩している現象を「地球温暖 化」と呼んでいます。

地球温暖化による影響について

地球温暖化の進行により、異常気象による災害の頻 発、干ばつによる食糧危機、海面上昇による居住地の 喪失などが引き起こされます。

すでに、その影響は私たちの生活においても、近年の台 風や集中豪雨などによる災害、猛暑日の増加による熱 中症のリスクなど、身近な問題となっています。

地球温暖化を防ぐには

地球温暖化は、私たち人間の営みから排出される温室 効果ガスによって引き起こされている現象です。温室効 果ガスの多くを占めているのは二酸化炭素です。二酸 化炭素は、主に石炭や石油、天然ガスなどの化石燃料 を燃やすことで発生しており、火力発電や自動車、ごみ の焼却など、私たちの生活に大きく関わっています。二 酸化炭素の排出を抑えるため、節電やごみを減らすな ど一人ひとりができることから取り組み、子どもや孫の 世代に少しでも住みやすい環境と未来を残していきま しょう。

二酸化炭素削減のために日常生活でできること

節電を心がけましょう

日本の電力は東日本大震災以降、原子力発電による発 電が大きく減少し、現在では大量の二酸化炭素を排出 する火力発電が全体の6~7割を占めています。町では 「寄居町エコハウス推進事業」により、住宅向け太陽光 発電などの省エネ機器設置費用の一部を補助していま す。詳しくは生活環境エコタウン課へご相談ください。

家庭でできる節電方法

- ①部屋を出るときは照明やテレビなどを小まめに消しま しょう。
- ②使っていない電化製品のコンセントは抜いて待機電力を 削減しましょう。
- ③エアコンの設定温度・風向きを調節して節電しましょう。
- ④冷蔵庫は扉の開閉時間を短くし、物を詰め込み過ぎない ようにしましょう。





ごみを減らしましょう「3Rの実践」

焼却施設で家庭や事務所などから出たごみを燃やすと 二酸化炭素が発生します。3つのR「Reduce (リデュー ス)」、「Reuse (リユース)」、「Recycle (リサイク ル)」によりごみを減らすことで二酸化炭素の排出量を 削減することができます。

- ①Reduce (リデュース) / ごみを出さない工夫をしましょう。
- ②Reuse (リユース) /繰り返し使いましょう。
- ③Recycle (リサイクル) / 資源として再び使いましょう。



3Rの中で、最も大事なことはReduce (リデュース) 「ごみを出さない」ことです。まずは、ごみを少しでも 出さない工夫をお願いします。

問生活環境エコタウン課(▼581·2121内線222·224)